

北極環境研究に関する国際的推進など研究環境の状況 International promotion of Arctic Environmental Research

大畑 哲夫^{1*}
OHATA, Tetsuo^{1*}

¹ 海洋研究開発機構
¹JAMSTEC

今まで日本の中の北極環境研究に関しては幾つかの研究機関での事業的研究や研究機関・大学等の研究者が競争的資金を取得し実施する研究がほとんどであったが、文科省の戦略的研究である GRENE が始まり、研究の環境は複雑になりつつある。一方、各国の諸事業（プロジェクト・プログラム）や国際的な推進活動も増え、それらがアクロニムとして表現され氾濫しつつある。その状況は年々変化するため、理解するだけでも一苦労である。北極環境に関しては、自然科学のみならず社会科学や工学なども関係してくるため状態がより複雑になっている。

個々の科学者は具体的な研究の際に、これらの状況を知らなくても仕事ができるが、ファンディングの際や諸外国の研究者と研究の進め方などを議論する場合には、これらの状況やアクロニムで表されている事柄に関する知識があると、役立つことが考えられる。むしろそれらをうまく活用すれば、研究を豊かにできるとも言える。

本発表では、これら北極環境研究に関する国際的推進活動の現況を、可能な範囲で分かりやすく説明する予定である。

キーワード: 北極環境研究, 国際情勢

Keywords: Arctic Environmental Research, International promotion